



39th Japan Conference of Radiological Technologists

# 第39回日本診療放射線技師学術大会

第30回 東アジア学術交流大会

会期	2023年9月29日(金)～10月1日(日)	会長	上田 克彦 〔公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長〕
会場	熊本城ホール [ハイブリッド開催] 〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40	大会長	西小野 昭人 〔一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長〕

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

# 復興の地から はじまる 技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

## 新人教育における教育管理ツールの有用性

○待鳥尚子 辻本佳孝 三宅航平 石倉綜太 佐藤彩花 竹本智浩 水谷陽一  
医療法人康仁会 西の京病院 放射線科

### 【目的】

当院ではプリセプタを中心に放射線科新人教育マニュアルに基づき指導を行っているが、スタッフ間で教育の進捗状況が共有できていないため、プリセプタ不在時の担当技師は、指導に難渋することが多い。今回、新人教育進捗管理ツールを作成することで、プリセプタ不在時も円滑な指導を行えることができたので報告する。

### 【方法】

実務経験が5年目以上の当科診療放射線技師 13 名にアンケート調査を行った。アンケート内容は、進捗状況・手法・実践状況・理解度・ノンテクニカルスキル・特異手法認知度の6項目に対して5段階で評価をした。

### 【結果】

新人教育進捗状況管理ツールの導入前後で、共有化率が向上した。

### 【結語】

新人教育進捗管理ツールを作成し運用することで共有化率が向上し、新人教育の進捗状況を把握しやすくなり、プリセプタ不在時も円滑な指導を行えることが示唆された。